

## 2024年度町田市スポーツ推進審議会 議事要旨

日時 2025年2月10日(月) 18:30~20:10

場所 町田市役所 10階 10-2会議室

### 出席者

川崎 登志喜	委員(会長)	玉川大学教育学部 教授
波多野 圭吾	委員(職務代理)	国土舘大学政経学部 講師
宮崎 光次	委員	桜美林大学健康福祉学群 教授
西井 義昭	委員	一般財団法人 町田市スポーツ協会 副会長
小川 由起子	委員	町田市スポーツ推進委員会 副会長
水野 洋子	委員	NPO 法人スポーツ塾 J.VIC 理事長
毛利 良相	委員	町田商工会議所 青年部会長
小八重 眞弓	委員	市民委員
渡邊 晃庸	委員	市民委員

### 欠席者

江口 寛征	委員	社会福祉法人合掌苑 特別養護老人ホーム合掌苑桂寮施設長
長谷川 智也	委員	南中学校校長

### 事務局

文化スポーツ振興部長 老沼 正彦  
文化スポーツ振興部スポーツ振興担当課長 根岸 良美  
文化スポーツ振興部スポーツ振興課担当係長 荒木 康伸  
文化スポーツ振興部スポーツ振興課担当係長 地寄 一敏  
文化スポーツ振興部スポーツ振興課担当係長 山田 和彦  
文化スポーツ振興部スポーツ振興課主任 積 さゆり

### 傍聴者

0名

## 議事等

1. 開会
2. 委員自己紹介・事務局紹介
3. 会長互選
4. 報告事項
  - (1) 2024年度スポーツに関する市民意識調査アンケート調査結果について
  - (2) 町田市スポーツ推進計画 19-28 進捗状況について
  - (3) 町田市スポーツ推進計画 19-28 後期アクションプラン進捗状況について
5. 議事
  - (1) 町田市スポーツ推進計画 19-28 および後期アクションプラン進捗状況について
6. 事務局から
7. 閉会

## <資料>

- 資料1 スポーツ推進審議会条例
- 資料2 スポーツ推進審議会委員名簿
- 資料3-1 スポーツに関する市民意識調査アンケート抜粋
- 資料3-2 スポーツに関する市民意識調査アンケート報告書
- 資料4 町田市スポーツ推進計画 19-28 進捗状況（2024年度）
- 資料5-1 2024年度 町田市スポーツ推進計画 19-28 後期アクションプラン進捗状況（主な実施事業）
- 資料5-2 2024年度 町田市スポーツ推進計画 19-28 後期アクションプラン進捗状況（詳細）

## 議事要旨

1. 開会
2. 議事
  - (1) 町田市スポーツ推進計画 19-28 および後期アクションプラン進捗状況について  
事務局より配布資料について説明を行った。

会長 最初に説明があったが、スポーツの実施率が大幅に減少している。事務局の説明のとおり質問の文言が大きく変わったところが影響していると思われる。スポーツ庁が平成27年度アンケートの形式を変えて実施率が大きく減ったということもあったので、設問の変更が全体の結果に大きく影響することがあると思われる。事務局の方でアンケートの方法について検証できるようなものはあるか。

事務局 今年度中に数値の減少がアンケートの取り方によるものなのか検証し、改めて委員の皆様と共有したい。

会長 来年度どのようにアンケートを取ればいいのか検証していただきたい。  
それ以外の説明事項、数字等で質問事項等なければ次の審議事項に移る。アクションプランの進捗状況について各委員からご意見を伺いたい。

- 宮崎委員 資料 5-1 基本目標 (1) 子どものスポーツ推進の中の部活動の地域連携の推進について、部活動地域連携検討委員会は 2024 年度 5 回実施するとなっている。アンケートによる意識調査の分析から、地域連携・地域移行に関する課題を把握することができたところがあるが、実際にはどのような課題を把握したのか分かれば教えてほしい。
- 事務局 細かい資料は持ち合わせていないが、教育委員会で議論を進めている。東京都の資料も踏まえると、教員の負担が大きいところと合わせて、楽しさだけではなく、ある程度専門的に習いたいという声もある。今どういった形で実施できるか検討している。
- 会長 検討委員会のメンバーはどのような構成か。教育委員会のみか。
- 事務局 文化スポーツ振興部からは文化振興課とスポーツ振興課が参加している。
- 会長 町田市スポーツ協会の関わりはあるか。
- 西井委員 町田市スポーツ協会は指導の認定についてはお願いしている。
- 会長 去年まではまだ町田市は検討中という話があったが、兵庫県のようにきっぱりと辞めたり、渋谷区のように様々な機関を巻き込んだり、色んな形があり、我々としても興味がある。
- 会長 いい方向で町田オリジナルができるといい。今後も委員の皆様には注目していただきたい。
- 自分からの意見だが、(3) 高齢者のスポーツ推進について、目標値は「実施」となっているが、数値は設定していなかったか。一旦指標に掲げた取組を行ってみて、今後は目標値を設定し、実施するのはどうか。後期アクションプランの残りの年数は目標値を作ってもよいのではないか。参加者増加を目指すなど、ご検討いただければと思う。
- 渡邊委員 高齢者のスポーツ推進について、まちトレというのがあり、友人が公民館等で指導している。Youtube 等も見ると、それぞれがいい運動をしている。以前審議会でもまちトレも評価の対象にしていくと記載があったので、今後も話題になるのかなと考えている。それから自分はテニスをしているが、高齢者がとても多い。今後も高齢者は増えていくので、そういった部分も今後調査に入れてもよいのでは。指標に掲げている温浴施設等だけでは全体の把握は難しいと思う。
- 事務局 指標では確かに温浴施設棟を取り上げている。さらにスポーツを推進していけるよう、次期計画で検討する。
- 渡邊委員 次にトップアスリートとの交流について、スポーツ推進に非常に効果があると思っている。学校訪問をしたりすると、それまでその学校に訪れたアスリートの交流時の写真がある。東京 2020 オリンピック・パラリンピックなどこれまでの交流の記録も含めて 20 から 30 くらいある。交流のためにアスリートを招待するのは費用がかかると思うが、国や都の補助金の状況などはどうか。
- 事務局 番号 1-1-4 で数値として出しているものは指定管理者の自主事業イベントなどの数も含まれている。パラバドミントン体験教室もオリンピック後のレガシーとして実施しており、それは市の予算で実施している。
- 渡邊委員 学校は様々な取り組みを多く行っている。体育やそれ以外など、機会があれば市職員にも見てもらえるとよいと思う。
- 小八重委員 まちだサポーターズはデフリンピックに関して映画の上映を実施する。本年度開催されたまちカフェに出展し、ボッチャの体験会を実施した。内部でもボッチャ大会を実施し

ている。試行錯誤しながら、市民の皆様と交流する機会を作っていきたい。

会長 現在どのくらいの人数が活動しているのか。

小八重委員 400 名くらいが活動している。だんだん高齢化しており、若い方がたくさん入ってくれ  
ると嬉しい。まちカフェなどでメンバー募集をしている。広報にも記載した。

会長 人数は力なので、ぜひきっかけを作ってもらい、人数が増えるとよい。

毛利委員 アンケートの結果、スポーツ実施率が 14%低下しているが、これだけ取り方が変わっ  
てしまうとアンケート自体の目標値に意味があるのか。差をどのように捉えればよいか。

事務局 今年度内に原因を究明できるよう比較できる形で再調査を行い、その結果をもって今回  
の取り方が原因なのか、実際に実施率が下がっているのか再度検証していきたい。

毛利委員 アンケートで (9) 市のスポーツ情報をきっかけにスポーツに関わったという回答が伸  
びているが、原因は何だと考えるか。

事務局 F C 町田ゼルビアの影響が大きいと思う。シティプロモーションの役割を果たしてもら  
った。ホームゲームの観戦者数が 2 倍弱程度、前シーズンから増えている。

毛利委員 来年また評価するときに、本当に F C 町田ゼルビアが要因なのが分かると思う。また感  
想だが、障がい者のスポーツ推進 1-4-2 の小学生を対象とした障がい者スポーツ体験教  
室開催については他の目標に比べてかなり高い数値で目標を定めているが、高いレベル  
で達成されていると感じた。

温浴施設について、もっとこういう施設が町中に増えてもいいと思う。どこにどんな世  
代がどれくらい住んでいるかなど、マーケティング的な情報を市から発信してもらえれ  
ば、それを見た業者がその場にスポーツ施設を作ってみようと思ったりすると思う。

会長 温浴施設利用者の居住区データを取ってみてもよいと思う。

水野委員 地域スポーツクラブの立場からすると、部活動地域連携の話は大変興味がある。何年か  
前から話は色々出てきているが、町田市はまだあまり具体的な話が出ていない。宮崎委員  
も以前仰っていたが、地域に向けた指導者講習などの指導員確保や、様々な種目を取り  
扱うことができることから、大学資源を活用することも一つの方法だと考える。いい形  
で町田市も作り上げていければと思う。

小川委員 スポーツ推進委員の活動で、スポーツにチャレンジ！という自主事業があるが、募集方  
法が変わり、参加人数が大幅に減ってしまった。教室にもよると思うが、例えばポッチ  
ャなど企画をしたときに、どう募集を出すか検討が必要。資料 5-2 にも記載があるが、  
各学校へのチラシ配布を取りやめたからなのか、内容なのか見直していきたい。せっか  
く場を提供しても参加者が少ないと意味がない。来年度はサン町田旭体育館、総合体育  
館、小山市民センターなど、町田の中で分散させて募集をかけ、親子で参加できる場と  
して、ポッチャ体験会等をできたらいいなと考えている。そういう機会をたくさん設け  
たいと思っている。

会長 町田市のスポーツ推進委員 15 名だが、八王子は 40 名。人口的にはもう少しほしいとこ  
ろ。市と連携して取り組んでいければよい。

西井委員 資料 4 についてたいへんよくまとめていただいた。資料 3-2 の 31 ページ、アンケート  
内のスポーツの定義について、意思を持って身体を動かすこととしている。アンケート  
内で具体的な記載があってよかった。また問 3 で住まいの地区を聞いているが、分け方  
が大枠過ぎるように思う。また地区を聞くことによる分析はどう活用しているのか気に

なった。

また、17 ページ間 10 町田市のスポーツ情報の入手元について、新聞はどのようなものを指しているのか。

- 事務局 新聞・タウン誌としてまとめている。
- 西井委員 自分は広報誌を見るが、広報誌はスポーツだけではなく、町田市全体の情報を載せている。スポーツに特化する訳にはいかないと思う一方で、スポーツ協会でもスポーツ情報を分かりやすくしてほしいと言われる。掲載方法について悩ましいところ。
- 会長 地区について、アンケートは5地区だが、スポーツマップはいくつに分けているか。
- 事務局 10地区としている。
- 会長 市民としてはどちらが馴染み深いか。
- 事務局 町田市は1町5村から成り立つため、5地区でのイメージが多いかもしれない。
- 波多野委員 基本目標1スポーツが嫌いと言われ、30代40代の働き盛り・子育て世代のスポーツ実施率について、私が関わりのある研究分野ですと、子どもの運動習慣は親、特に母親の影響が大きいと言われている。国の調査からそう言われている。昨年末に発表された研究で、さらに掘り下げて母親の妊娠初期から産後5年くらいの影響がさらに強いのではないかとされている。それを踏まえると、親子を対象にした事業があったが、これをさらに進めていくことが効果的だと考える。町田市は子育て世代に注目されている自治体だと思うので、親子や両親学級などからアプローチできるといいと思う。
- 会長 町田市は子どもに優しい町として、先日テレビにも取り上げられた。子育て関連部署とスポーツ振興課で提携していることはあるか。
- 事務局 子どもセンターなどでスポーツ教室を実施している。乳幼児と一緒に参加可能な形式で実施した。
- 渡邊委員 町田市総合健康づくり月間2024という情報誌がある。こういった誌面を見てイベントに参加してくれる市民も居ると思う。
- 宮崎委員 障がい者のスポーツ推進について、障がい者スポーツ大会に出ている人数が書かれているが、以前も話したが、障がい者だけではなく、健常者と一緒にスポーツをするようなユニバーサルスポーツを推進していくことも重要だと思う。障がい者の方と一般の方が一緒にスポーツを行い、理解を深める機会を作っていければよい。
- 事務局 明日2月11日に総合体育館で「トライ・スポーツ！まちだ2025」を開催する。パラスポーツ中心のイベントで、様々な種目のブースを出展する。例えば視覚障がい者が行うスポーツのブースでは、サウンドテーブルテニスという、音でボールを追って打ち返すものだが、視覚障がい者協会の方々にボランティアとして参加していただき、健常者の方と一緒に実施していただく。また2024年6月に日本財団パラスポーツサポートセンターと町田市で事業連携協定を締結しており、車椅子10台をご寄附いただいた。イベント時も財団の方にお越しいただき、座学と実技と体験をファミリーアカデミーとして実施する。今のところ20組程度のお申込みをいただいている。市民の方への場の提供として、指定管理者と連携して取り組んでいる。
- 会長 様々な立場からの意見が出た。事務局にはぜひこれらを活かしてほしい。アンケートの取り方についても結果の周知と、次年度どう取るのか十分検討していただきたい。また予算について、現時点でも様々なイベントを実施しているが、町田市の予算としては増

減などどう動いているのかはポイントである。将来的には予算増の目標を設けてもいいのでは。予算が増えるということは、自治体としてスポーツを大事にしているということの指針となる。

### 3. 事務局から

事務局から今後について説明を行った。

### 4. 閉会

以上